

沖繩畜共で石垣牛が単価8888円の最高値、ニイチク購買



沖繩県内で生産される肉畜の比較品評を行う中から種畜の改良方向および畜産農家に具体的な飼養管理ならびに改良増殖の目標を与え、畜産農家の経営安定と沖繩県畜産振興の発展を資することを目的に開催されている「第46回沖繩県畜産共進会」が10月30日、(株)沖繩県食肉センターで開催され、沖繩各地区から集められた25頭の黒毛和牛が出品された。

入賞牛1席に輝いたのは、農業生産法人(有)ヤイマ・ブリーダー・ランチ(石垣市)出品の石垣牛(去勢、A5、枝肉重量547kg、BMS No.12・写真)。キメ、締まり、脂質、光沢すべてが良質な仕上がりであり、せりでは(株)ニイチクが未広がりの単価8888円で購買。同共進会開催以来の最高値を更新した。今回、ニイチクが購買した石垣牛は取引先である三越伊勢丹グループの(株)エムアイフードスタイルに納品される予定。同社はこれまでもコロナで外食需要などが落ち込む中で販売先に苦しんでいた石垣牛の販売を助けてきた経緯があり、今回の共進会で石垣牛が入賞を果たしたことで、今月中にも店舗でフェア販売を計画している。そのほか、入賞牛2席の山城畜産(沖繩市)の山城牛は西日本フード(株)が単価3500円、3席の石川豊氏(うるま市)の沖繩和牛は(株)ミーツが3300円、4席の山城畜産の山城牛は(株)沖繩丸一食品が3500円でそれぞれ購買。コロナの影響も懸念されたが、活発なせりが行われ、生産者も胸をなでおろしている様子だった。(価格はすべて税抜)